



歴史のみち広域景観形成プロジェクト

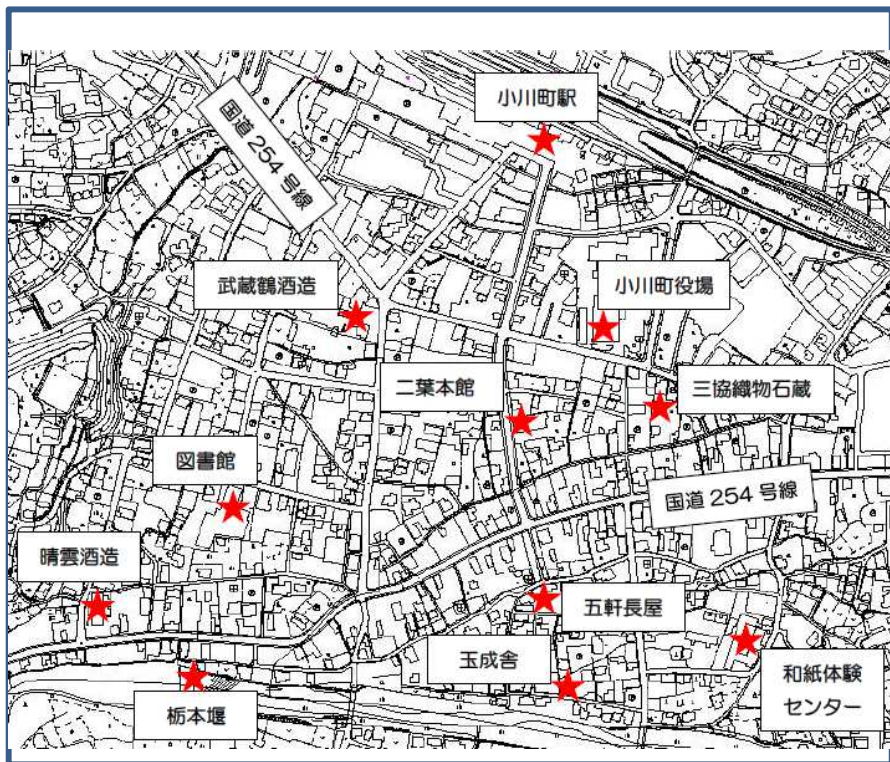
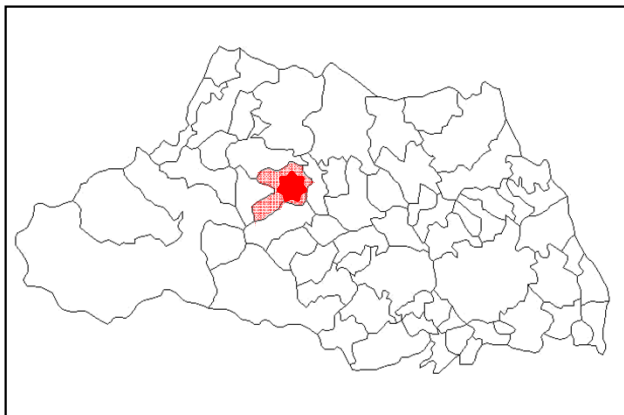
○ 旧街道や旧宿場町などに埋もれている歴史的景観資源を保全・活用し、広域景観形成を進めるプロジェクト。

- ・ 地域景観資源発掘調査
- ・ 歴史のみち景観モデル地区の選定
- ・ 講演会、まち歩きなどの啓発活動
- ・ 景観重要建造物の指定

歴史のみち 景観モデル地区



「和紙のふるさと・商都小川町」地区の概要



地区の概要

○交通

東武東上線・JR八高線 小川町駅下車
小川町駅南側の市街地

○なりたち

・小川和紙や小川絹をはじめ、建具、酒造などの伝統産業で古くから市場として栄え、今も町家や洋館、蔵が多く残っている。

景観資源

和紙体験学習センター



1936年(昭和11年)に建築された旧埼玉県製紙試験場で和紙の体験学習の拠点施設となっている。

槻川栃本堰



「武蔵の小京都」を呼ばれる所以の風景となっているのが槻川の眺め。栃本親水公園が町民の憩いの場となっている。

五軒長屋



南裏通りにある江戸時代末期に建築された五軒長屋。登録有形文化財へ認定手続きを進めている。

北・南裏通り



国道254号(昔の秩父往還)の1本裏にある通りは、土蔵・石蔵が多く残っている。

「和紙のふるさと・商都小川町」地区の取組

「町並みを楽しみ尽くす2日間」

「商都・小川町の魅力再発見」



ネコのように路地を歩く
この町はまさにラビリンス

屋台村
11:30～

2016

10/15
[土]

10:00 開場「移住サポートセンターの説明会」
10:30 講演会「町並みが語る歴史-人と物をつないだ街道と町場」
会場：中央公民館

10/16
[日]

13:30 町並み見学会 集合場所：和紙体験学習センター
13:00 調査報告「五軒長屋の登録有形文化財に向けた実測調査報告」
講演「町並みは地域の宝-地域活性化の可能性」
シンポジウム「町並みを活かしてまちづくり」
会場：小川町立図書館視覚ホール

- 主催：特定非営利活動法人 小川町創り文化プロジェクト
- 後援：小川町・小川町教育委員会・小川町商工会
- 問い合わせ・申し込み：特定非営利活動法人 小川町創り文化プロジェクト事務局
TEL/FAX: 0493-74-0050(たまんど) / 090-6169-4286 (ナゲト)
E-Mail: dayan@coffee.ocn.ne.jp
- ◆最新情報は、Facebookページ「特定非営利活動法人 小川町創り文化プロジェクト」にて更新中
- ★このイベントは小川町総合戦略推進補助金を活用した事業です。

小川町「まちもり広場」

オープニングイベントのお知らせ



小川町の空き地を活用して、みんなが集える広場にしたい。そんな思いから、NPO 小川町創り文化プロジェクトは、小川町総合戦略推進補助金を得て、空き地を広場に変わる取り組みを始めました。統一した名前は「まちもり広場」。それぞれの広場には、かつてそこにあった商店の屋号で呼ばれます。完成後、日常は自由な集いの場として開放。週末などには、ワークショップやマルシェ、クラフト市などの会場としてお使いいただけます（要予約）。

「まちもり広場第一弾「ます屋」オープニングイベント概要」

- 日程：7/29(土) 18時～
- 会場：まちもり広場ます屋
(埼玉県比企郡小川町小川177 ドラッグストアアセキ並び)
- プログラム
①町のフラダンスサークルの指導によるフラダンス体験（予定）
②小川町に残る方言言葉の上巻会
その他、建築ブース出展（コーヒー、焼き鳥、たこ焼きなど）
※イベント内容は予定です。変更の可能性あります。



【お問い合わせ・申し込み先】
〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川177 小川町創り文化プロジェクト 担当：中山友子
電話番号：090-6510-3357
E-mail: hira-tomo@celery.ocn.ne.jp
https://ogewapla.cemaking.jp/mdo.com
主催：NPO 小川町創り文化プロジェクト
後援：小川町・小川町教育委員会

小川町の魅力的な歴史的建造物とまち並み景観 再発見

小川町のまちなみ
の歴史は……

いろんなジャンルがあることです！

町屋、和風旅館、擬洋風（洋館）、土蔵、石蔵等あらゆる種類の貴重な建物があるということは、近代、現代のどの時代も「豊かさと一緒に育ちてきた」ことの証しなんです！

小川町の魅力的な歴史的建造物とまち並み景観 再発見 に向けて

私は、歴史的建造物の調査や保存再生、そして尾道市で空き家バンク活動に取り組んでいる一級建築士です。

去年秋、シンポジウムのために初めて小川町を訪ねて、「これほど多種多様なまちなみ景観が残っている街が、こんなに近くにあったのが！」と驚愕したことを覚えています。

寺社だけ、土蔵だけ、洋館だけ、見たら、もっと立派な都市はあるでしょう。しかし、各時代にわたり、さまざまなジャンルの建物が残って保存状態がよく残されているまちなみは多くはありません。その価値は、ほかの街がこれから真似をしようとしても新たに作ることはできないものです。

建物と景観は、その街が「何で栄えたか」を雄弁に語る「生き証人」なのです。いま国内外の観光客は、豪華なハコモノでなく、「その場所としかない」「本物」を目指して来るといいます。小川町はその可能性を秘めています。

でも、いちばん大切なことは、町民の皆さんが「このまちなみ、そんなにスゲーのか！」と気づいてくださることだと思います。

その第一歩として、私が「小川町のどこにビックリしたか」を語らせていただくつもりです！ よろしくお願ひいたします。

ぜひご参加ください

講師：遠藤啓孝
1966年生まれ、一級建築士、南道市立大学助教授、NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト理事として「尾道市空き家バンク」を担当、書籍に『風景をたのむ日々』共著に『まちなみ』など、家づくりを自由にする。

ウチの家の建つてきた理由もどこまでいっても……

国の登録有形文化財の和風旅館。内部を覗いてみると……

壁にツバメが飛んでます！

自然木の床柱だ

湯船が溜まり！

こんな近代建り見たことない！

なぜクローバー？



和紙のふるさと 商都・小川町
「埼玉県歴史のみち景観モデル地区」選定記念

活用事例を中心に まち歩き



講演会

残して活かす家とまち

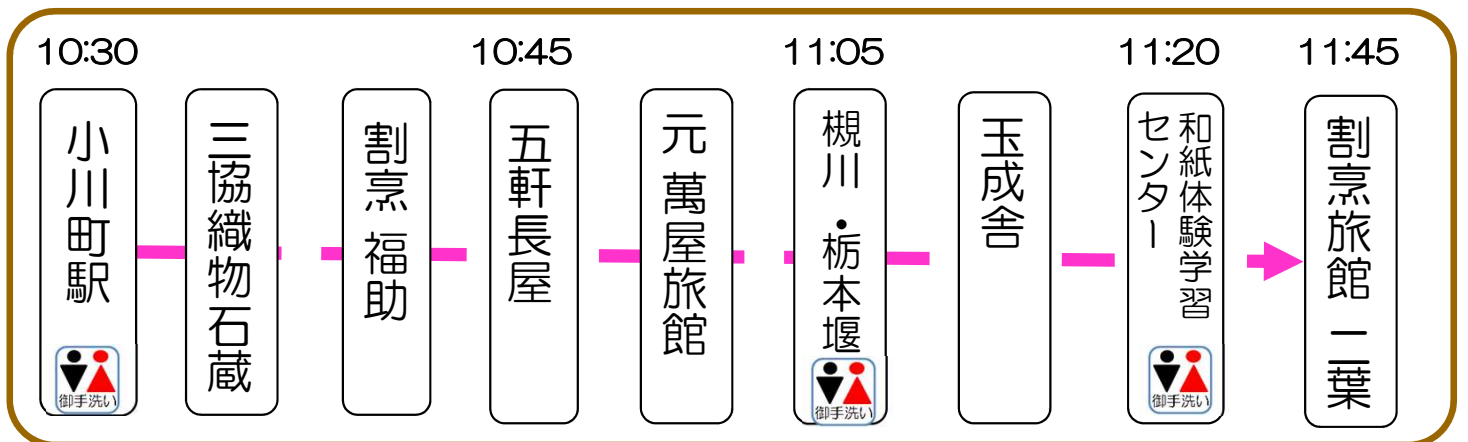


平成30年2月24日(土) 参加費無料

※まち歩き・講演会ともに参加の方には
「割烹旅館 二葉」でのお食事割引券贈呈！！（先着20名）

主催：小川町、NPO 法人 小川町創り文化プロジェクト、埼玉県

～まち歩きコースの御案内～



※ 記載の時間は、まち歩きの所要時間の目安です。

NPO 法人 小川町創り文化プロジェクト(まちぶん)
小川町 都市政策課
埼玉県 田園都市づくり課

まち歩きは3者共同での取り組みです！